

# ～ 2021（令和3）年度 Online 国際研修 「SDGs 達成に向けたUHC時代における結核制圧」に参加して～

中華人民共和国瀋陽市第十人民医院

瀋陽市胸科医院 奚莹 (Xi Ying)

結核予防会と結核研究所、及びJICAの皆様。

まず最初に、3週間のオンライン研修に参加する機会を与えて頂いた事に感謝致します。瞬く間に過ぎた研修日程の中で多くの事を学びました。多くの専門の先生方が御講義されただけでなく、山田先生によって御指導された7ヶ国8名の参加者が熱心に議論し、各国における経験を共有しました。研修を成功裏に導いて頂いた結核予防会と結核研究所の皆様には感謝致します。私にとっては人生の中で最も貴重な経験の一つとなりました。

研修の前に、2021年10月19日から22日に開催された「肺の健康に関する第52回ユニオン世界会議（オンライン開催）に私達が参加出来る機会を与えて頂きました。世界会議を通じて、最新の各国専門家ガイダンスと経験の多くを、特に結核対策の分野で学ぶ事が出来ました。研修員にこのような貴重な世界的イベントへの参加機会を与えて頂いたJICAと結核予防会に対して改めて感謝致します。

JICA オンライン研修は10月25日に始まりましたが、中国ではGoogle Classroomにログイン出来ない為、研修準備に必要な事前学習を結核研究所の職員により毎日提供頂いた事に感謝しています。

研修で御指導頂いたのは、Tauhid先生（WHO西太平洋地域事務局）、小野崎先生、石川先生、御手洗先生、大角先生、Sandra先生、Kiran先生、山田先生といった専門家の方達でした。講義内容は、「SDGs達成に向けたUHC時代における結核制圧、結核終焉とパンデミックの影響における進捗」、「結核患者見逃しの要因」、WHO改訂ガイドライン「体系的な結核スクリーニング」、等々でした。研修内容は合理的かつ精密であり、カンボジア、エジプト、イラク、リベリア、フィリピン、タイ、中国からの8人の研修員が、山田先生の司会の元、活発な議論を行いました。議論の中では全員が前向きなコメントをしました。各国における結核予防と対策の方法と経験が共有されました。特にフィリピンからの研修員によるプレゼンテーションは非常に優れて解り易いものでした。研修員全員が、専

門的な技術向上のみならず、視野を広げ、結核対策におけるより多くの国の貴重な実践と経験を学ぶ事が出来、大きな恩恵を得たと思います。

研修員達は、患者発見状況、患者見逃しのメカニズム、これらに対するCOVID-19パンデミックの影響、及び患者発見を促進し見逃しを減らす為の可能なアプローチに関する知識とスキルを習得しました。そして研修の最終段階では、研修員全員が学んだ知識・技術を活用し、結核対策戦略とUHCに鑑みながら、それぞれの国で、COVID-19パンデミック中及びその後の患者発見を促進するための提案の発表をする事が出来ました。討議では、英語リスニングが苦手な私の為に、言葉の壁を乗り越えて皆さんとのコミュニケーションをより深める事が叶うよう、本当のプロフェッショナルで親切な山田先生に助けて頂き心から感謝しております。

11月12日午後、オンライン研修は予定通りに終了しました。JICA東京センター徳田課長と結核研究所加藤所長からの閉講式御挨拶に加え、厚生労働省江浪課長からのメッセージも頂きました。最終日閉講式の後にさようならする時には感謝の気持ちと同時に、素晴らしいコースや優秀なクラスメートに別れを告げたくなく、お別れするのが辛かったです。この貴重な研修に参加する機会が与えられた事に改めて感謝し、講師の先生方の御尽力、日本人スタッフの熱心な支援に感謝します。心暖まる雰囲気の中、Zoomが閉められる事が残念でした。この研修で多くの事を学びました。このコースは私の専門知識と英語レベルを向上させただけでなく、視野を広げてくれました。今後も一層努力し、国際会議に参加する機会を増やしたいと思いますし、将来また集まる事が出来る様願っています。🍷